

部活動指針

栃木市立皆川中学校

2025. 4

1 部活動の目標

生徒の自主的・自発的な参加により、スポーツや文化などに親しませ、学習意欲の向上や責任感・連帯感の涵養等を図る。

2 部活動の位置づけ

部活動は教育課程外の活動ではあるが、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであることから、学校教育の一環として、教育課程との関連を図りながら取り組むよう留意することとなっている。〔中学校学習指導要領（平成29年3月公示）第1章総則より〕

本校としては、教育目標達成のための一つの活動として適切な指導体制を構築し、効果的な部活動運営に努めながら、心身共にたくましい健全な生徒を育成する。

3 部活動指針作成の留意点

- (1) 本校の「部活動指針」は、「栃木県運動部活動の在り方に関する方針」及び「栃木市立中学校部活動の在り方に関する方針」をもとに、校長が作成するものである。
- (2) 本方針は、実情に応じて毎年度見直しを図る。なお、部活動の運営及び指導において、情報の共有や見直し等が生じた場合は、校長は適宜、部活動顧問会議を開催し課題解決を図るものとする。

4 部活動の設置について

(1) 設置する部活動

部活動名	顧問名	
卓 球	菊地渉未 小川博司	
男子ソフトテニス	関口真人 黒川真理子 江部義満	
女子ソフトテニス	北村健二	黒川真理子
バレーボール	椎名茜 小川博司	
文 化	江部義満	碓氷七菜

(2) 設置に必要な教員等の配置

1つの部活動に対して、顧問2名（校長・教頭を除く）を配置することを原則とする。

(3) 廃部の目安

現在、設置されている部活動において、以下のいずれかの状況が生じた場合、職員会議並びに学校運営協議会等で検討する。

- ・1、2年生を合わせて、公式戦に出場する人数が確保できず、翌年の1年生の入部において、3学年の合計人数が、公式戦に出場するための人数を確保できない状態が2年以上続いた場合。
- ・部活動顧問の配置が困難で、生徒の安全を確保することが難しい場合。

(4) 合同部活動の考え方

生徒の減少等により、本校だけで部活動が運営できない場合、栃木県中学校体育連盟等の規定に従い、相手方の校長の承認を得て、合同部活動を実施することができる。ただし、その状況が継続す

る場合は、当該部活動を廃部の対象として検討する。

(5) その他

新入生の入部の手続き、月ごとの部活動終了時刻等、部活動の詳細な計画は、別に教育計画で定める。

5 部活動の実施方法

(1) 活動時間

生徒の活動に対する集中力の持続や疲労の蓄積、安全に登下校ができる時間等を十分に考慮し、1日の活動時間を次のように設定する。

○平日の活動は、2時間程度とする。ただし、日没時刻に併せて適切に練習時間を設定する。平日の下校時刻は月ごとに別に定める（教育計画参照）。

○原則、朝練習は行わない。

○休日や長期休業中の活動時間は、3時間程度とする。また、対外（練習）試合、大会等で終日に渡って活動する場合は、1日のうちに休憩時間を適切に設定する。その場合は、別の日の活動時間を減らすなど、週当たりの総活動時間にも配慮する。

○程度とは、おおよそ＋20分を目安とする。

(2) 休養日

○原則として、水曜日は部活動休養日とし、朝も放課後も部活動は行わないこととする。

学期中の部活動休養日については、学期はじめに保護者に通知する。

○原則として、土曜日及び日曜日のうち、どちらか1日は休養日とする。週休日において大会等に出場し休養日が設けられない場合は、前後2週の範囲内で、休日に代わりの休養日を設定する。また、大会等で土曜日と日曜日の両日をフルで活動した場合には、翌日の月曜日を休養日にすることが望ましい。

○3連休の場合は、少なくとも1日の休養日を設ける。その場合、土曜日ないしは日曜日のどちらかに休養日を設けることが望ましい。

○第3日曜日は休養日とする（家庭の日）。

○長期休業中の休養日の設定は、学期中に準じた扱いとする。また、長期休業中は5日間程度の連続した休養日を設ける。（年度始めの職員会議が続き顧問が部活動を指導できない期間、8月のお盆休み、年末年始の12/29～1/3など）

(3) 活動上の留意点

ア 活動に当たって

○活動は、原則として顧問等立ち会いの下で行う。やむを得ない事情で顧問が立ち会えない場合は、他の教員に依頼する。その場合、危険度の高い活動は避けるとともに、練習内容・方法をあらかじめ部員に周知しておく。

○週休日等に活動する場合は、顧問は生徒集合時刻の30分前に出勤し、生徒の様子を確認したり、活動の準備をしたりする。

○活動後、一番遠い生徒が帰宅する程度の時間までは、顧問は学校で待機する。

イ 活動前の留意点

○平日の部活動開始時刻は、帰りの会終了後15分後を目安とする。

○部活動を遅刻、早退、欠席する場合は、必ず顧問に連絡をする。友達を通しての連絡は、認めない。

ウ 活動中の留意点

○指導に当たっては、活動時間を踏まえ、適切かつ効果的な指導に努める。

エ 活動後の留意点

○部活動終了時には、生徒の様子を確認する。具合の悪い生徒やけがをした生徒がいないか、部員間のトラブル等が無かったかについては、必ず確認をする。

○部活動終了時刻は厳守する。

6 安全管理

(1) 生徒指導上の管理

ア 指導者（顧問等）は、部活動が学校教育の一環として行われるものであることを十分に認識し、行き過ぎた指導を廃し、体罰・暴言等の根絶を徹底する。

イ 指導者（顧問等）は、技術的な指導のみならず、生徒同士の人間関係についても十分に把握し、いじめ等の未然防止に努める。

(2) 施設、設備等の管理

ア 顧問は、関係の施設、設備、用具等の定期的な安全管理に努める。修理や修繕が必要なものについては、すみやかに教頭に申し出る。

イ 顧問は部室を定期的に点検し、生徒が適切な使い方をできるよう指導する。また、カギの管理は顧問が責任を持って行う。

(3) 非常変災時等の対応

ア 地震発生時の対応

○地震発生時は適切に避難行動を取る。震度5強以上の地震発生の場合は、部活動を中止する。大会等の場合は、主催者の指示に従う。

○震度5強以上の地震発生時の下校については、原則保護者への引き渡しとし、できない場合は学校又は避難所へ待機させる。

イ 落雷事故防止

○雷鳴が聞こえてきた場合は、部活動を中止し、生徒を校舎内に避難させる。

○雷鳴が止んでも20分程度はまだ落雷の危険があるとされるので、学校として適切に判断をし、部活動を再開または下校させる。

ウ 熱中症予防対策

○熱中症の症状は一樣ではなく、症状が重くなると生命への危険が及ぶことから、暑さ指数(WBGT)をもとに、適切な対応を取る。暑さ指数(WBGT)に基づく詳細な対応については、別に定める。

○熱中症が疑われたときは、涼しい場所への避難、冷却、給水等の適切な処置を早めに行う。

○呼びかけへの反応がおかしいときや吐き気を訴えているときなどは、救急車を呼び保護者への連絡を取るなど、適切に対応する。

エ その他の安全管理

○その他の変災が生じた場合も、生徒の安全を第一とし、管理職と連携を密にしながら適切に対応する。

○活動内容・方法等について

- ・生徒の健康管理の徹底

- ①部活動開始前に、生徒の状況（体温、体調）について把握する。

- ②発熱等の風邪の症状が見られる時は、部活動への参加を見合わせ、必要に応じて医療機関を受診させる。

○活動における留意事項

- ・部活動への参加は、生徒本人と保護者の意向を尊重し、強制しない。

- ・生徒の体力に合わせた活動を行い、当該種目に必要な体力を高め、段階的な指導を行う。

- ・十分な準備運動を行うとともに、身体に過度な負担のかかる運動は徐々に行う。

- ・生徒の体力や健康状況を把握する。

- ・熱中症対策を十分に講じた上で実施する。

- ・自身の判断で適切に対応できるように指導する。

- ・活動時間についてはより短時間とし、休養日を適切に設定する。

- ・生徒の健康・安全の確保のため、生徒だけに任せるのではなく、顧問等の指導のもと実施する。

○活動内容

- ・活動内容については、各競技団体や関係団体が示しているガイドライン等を参考にしながら、基本的な安全対策を徹底した上で実施することとする。

【運動部】

- ・活動内容の留意事項については、競技により一律ではないため、各競技団体のガイドライン等を必ず確認する。

【文化部】

- ・活動場所の万全な安全対策を講じた上で実施する。

○大会、対外試合、イベント等への参加

- ・校長が認めた上で、保護者、生徒本人の了解を得る。

- ・主催団体、イベント主催者及び施設管理者等が示すガイドラインを遵守する。

7 活動計画・活動報告書の作成・報告

(1) 市提出用

① 活動計画の作成

顧問は、前月の中旬までに翌月の月間活動計画書を作成する。校長の承認後、保護者に周知する。

② 活動報告書の作成

ア 顧問は、月ごとの活動報告書を適切な時期に作成し、データをパソコンの「部活動報告書」に格納する。

イ 校長は、実施状況を確認し、各部の活動報告書をC4t hで、市教委学校教育課に報告する。

(2) 校内用

・長期休業中の活動は、所定の用紙に毎日記録し、保管する。

8 保護者・地域との連携等

本指針は、年度当初のPTA総会で、校長が保護者に周知する。その後、各部活動単位で、保護者を対象に説明会を実施する。その際、年間の活動方針、おもな予定等共通理解を図っておくべき事項について説明をする。